

資料

テクノクムの教授プラン

ソ連邦国民教育に関する国家委員会 1989年3月22日決定

専門NO.1706 「建設材料の企業の設備の使用と修理」

専門家の職業資格 技術—機械技師

教育期間：3年10ヶ月（9学年修了の場合）

2年10ヶ月（11学年修了の場合）

I. 模範的教育過程の図表（省略）

II. 時間配分の総括データ

学年	理論教授		試験期 (週)	生産的実習(週)			卒業設計 (国家試験)	休暇	学年ごとの 合計 (週)
	週	時間		教育的実習	技術学的実習	卒業前実習			
I	38	1368	3,5					10,5	52
II	30	1080	3,5	8				10,5	52
III	30	1080	3	4	9			6	52
IV	19	684	3		4	5	8	4	43
	117	4212	13	12	13	5	8	31	199

III. 教育過程のプラン

科目番号	科目の名称	半期毎の配分		検査作業の 最小時間数	時間数			学年・半期毎の配分								
		試験	学年の計画		計	内訳			I学年		II学年		III学年		IV学年	
						授業の 課業	実験実 際の 業課 と業	学年の 設計	1 半期 18 週	2 半期 20 週	3 半期 18 週	4 半期 12 週	5 半期 18 週	6 半期 12 週	7 半期 12 週	8 半期 7 週
1 2	社会—政治分野 歴史 マルクス—レーニン主 義の基礎	2 6, 8 (国家 試験)		192 200	192 200			4	6		2	2	2	2	2	8
	合計			392	392			4	6	2	2	2	2	2	8	
3 4 5 6 7 8 9	一般教育分野 ロシア語と文学 共和国の言語と文学 数学 情報学の基礎と情報技 術 物理学 化学 外国語	1, 2		4 4 3 96	192 170 208 62	192 170 208 34		4 5 6 2	6 4 5 3							
		1, 2		2 2 3	148 76 96	110 54 96	38 22	6 2 2	2 2 3							

	合計			18	986	892	94		27	25						
	専門分野															
	A. 共通専門科目															
10	専門への導入				36	36					2					
11	製図			3	162		162				5	6				
12	技術数学	3, 4	4	4	180	96	58	26			6	6				
13	一般電気工学と電子工学の基礎	5		2	144	110	34				3	6				
14	金属の加工と建設材料の技術学	3, 4		4	204	160	44				6	8				
15	ポンプ、圧縮機、換気装置（「水力学と熱工学」を含んで）	4		2	126	102	24				5	3				
16	陶器及び不溶性・非金属材料と製品の技術学	4		2	126	90	36				5	3				
17	電気伝導装置の基礎と生産過程の自動化	6		2	168	128	40					6	5			
18	クレーンと輸送機械			1	72	60	12					4				
19	標準化、交差、はめあい及び製品の質			2	72	52	20					4				
20	生産の経済と計画	7	8	2	129	89	20	20					5	4	3	
21	「社会心理学の基礎」を含めた管理活動の基礎				60	60								5	4	5
22	労働の保護と産業生態学の基礎	6		1	72	64	8						6			
23	生産の組織				84	84									7	
24	ソビエト法の基礎				60	40	20								5	
	合計			25	1695	1171	478	46			29	29	20	16	21	3
	B. 専門科目（この職種に固有なもの）															
25	建設材料の企業の機械と設備とその使用	5, 6	6	2	216	162	24	30				8	6			
26	設備のすえつけ、技術的操作、修理	8	7		143	87	36	20					5	4	5	
	合計			2	359	249	60	50				8	11	4	5	
	C. 専門科目（特殊な訓練科目）															
27	近接部門の企業の特殊な設備	8			116	96	20								5	8
28	近接部門の設備の調整、技術的操作、修理	8			56	56										8
	合計				172	152	20								5	16
	初歩の軍事予備訓練				140	54	86		1	1	1	1	2	3		
	体育				468	468			4	4	4	4	4	4	4	4
	総計			45	4212	3378	738	96	36	36	36	36	36	36	36	36
	選択科目				468				4	4	4	4	4	4	4	4
	学習科目						28		8	8	7	7	6	6	7	5
	学年の計画						4					1		1	1	1
	試験						20		2	3	2	4	2	4	1	2

IV. 生産的実習

	半期	週
1. 教育的実習 教育施設の作業場や企業の作業場において、仕上げ工の第2級の職業資格を得ることと結び付いた職業的技能及び能力を習得する範囲で 仕上げ実習 機械（加工）実習 企業の実習工場において高度な資格の労働者の職業を習得するための実習	4 4 6	4 4 4
2. 技術学的実習 設備の修理、すえつけ、調整に関する仕上げ工の能力と職業的技能の資格を完成させることに応じたもの	7	13
3. 卒業前実習 技術—機械技師の能力を獲得する範囲で（すなわち設備の修理に関する熟練者、機械と機械装置の利用と修理にかんする機械工の職務の代行—さらに修理工場の現場監督の代行も含めて）	8	5
合計		30

生徒は第6半期に、次の労働者の職業の中の1つを取得するための資格試験をうける（教育的実習の期間に生徒は、仕上げ工第2級の初歩的な技能を習得する）

1. 修理仕上げ工
2. 建設材料の企業の設備のすえつけ工
3. 設備のアスベスト鑑定の調整工
4. 窯業工場の設備の調整工
5. ガラス製造の自動化と半自動化の調整工

V. 卒業前設計

卒業前設計（製作）の実施

5月4日～6月22日

卒業前設計（製作）の審査

6月22日～6月29日

VI. 国家試験

1. マルクス—レーニン主義の基礎
- 2.
- 3.

VII. 必要な実験室、研究室、作業場の一覧表

No.	必要な実験室、研究室、作業場
	実験室
1	物理
2	化学
3	一般電気工学と電子工学の基礎
4	電気伝導装置の基礎と生産過程の自動化
5	材料試験
6	金属加工、建設材料の技術学
7	ポンプ、圧縮機、換気装置
8	技術的教材
	研究室（特別教室）
1	歴史学
2	マルクス—レーニン主義の基礎
3	ロシア語と文学
4	共和国の言語と文学
5	数学
6	情報学の基礎と情報技術
7	外国語
8	技術的力学
9	陶器及び不溶解性・非金属の材料と製品の技術学
10	クレーンと輸送機械
11	標準化、交差、はめあい及び製品の質
12	生産の経済と計画
13	管理活動の基礎と社会心理学
14	労働の保護と産業生態学の基礎
15	生産の組織
16	ソビエト法の基礎
17	建設材料の企業の機械と設備
18	設備のすえつけ、技術的操作、調整と修理
19	製図
20	初歩の軍事予備訓練
21	体育
22	学年設計と卒業設計
23	技術的作品
24	教授方法（教育学）
	作業場
	仕上げ
	機械
	スポーツ—健康施設

教授プランへの註釈

1. 第3学年と第4学年を除外して、教授は6月30日におわる。
2. 中等普通教育（11年制）を修了した生徒は第2学年から教授をはじめめる。
3. 模範的教育過程の図表は推薦的な性格をもつものである。教授プランで規定された理論的課業や試験期間や教育的実習や冬季休暇の期間を確保するに際して、各教育施設は地域の条件に応じて個々の学年ごとの教育過程の図表を作成する。
4. ロシア共和国以外の連邦共和国の地域に存在する中等専門学校においては、「共和

国の言語と文学」という科目はその共和国の公用語の学習を予定している。自治共和国（地区、州）にとって「母国語と母国の文学」の科目は選択科目として学習されることがのぞましい。

ロシア共和国の地域に存在する中等専門学校では、「共和国の言語と文学」という科目の学習にあてられた時間は以下のように利用されるのがのぞましい。

ロシア語が母国語ではない（自治共和国や地区や州の）生徒には、「共和国の言語と文学」は選択科目として学習されることがのぞましい。ロシア語や自治共和国（地区、州）の言語が母国語ではない生徒には、「母国語と母国文学」は選択科目として学習されることがのぞましい。

ロシア語が母国語である生徒には「ソ連邦の国民文学」という科目が学習されることがのぞましい。

「自治共和国（地区や州）の言語と文学」や「ソ連邦の国民文学」の科目の学習時間は直接的には各教育施設によって定められる。時間数を減少させる場合、それによってうみだされた時間は各教育施設の判断で人文科学的な性格をもった科目の学習に利用されるのがのぞましい。

民族学級における「ロシア語と文学」の科目の学習や、共和国の言語が母国語ではない生徒の学級における「共和国の言語と文学」の科目の学習に際して、学級をサブグループに分けることが可能である。

5. 体育の課業は必修であり、相当するコースの教授プランに予定されている時間数が計画される。
6. プランに予定されている管理活動は科目の学習に割り当てられた時間を考慮して行われる。管理活動の量は教育集団の質的構成や養成する専門家の業種にもとづきつつ、各教育施設によって大きくすることができる。

7. 中等専門学校は、企業の要望にそって若い専門家の活動の具体的種類を考慮して、養成する専門家の教授プランを企業と共同して作成する。

8. 教授プランに予定されている協議の実施の形態（学年ごとの、個人ごとの、書面の）は各教育施設によって決められる。

9. 総合試験は、教科の全体にわたる職業的課題の解答である。

試験にむけての課題の作成や試験の方法はこれらの科目を実施した教師によって実行される。

10. 仕上げ—機械（加工）実習については、学校の裁量により教育的実習をある期間に集中して行うこともできるし、あるいは分散させて理論的課業とそれを交互に行うこともできる。ただし、テクニクムの職業資格委員会（この構成員には企業の代表者も入らねばならない）によって仕上げ工第2級の労働者の職業を獲得することと結び付けて、理論的課業と教育的実習として定められた教育期間は確保しなければならない。
11. 教育的実習の実施時期は、地域的条件下に於いて学年の範囲内で移動させることができる。

労働者の職業ごとの資格を付与する可能性は、教育施設によって定められる。

12. 技術学的実習（専門の業種ごとの実習）や卒業前実習は、原則として集中的に実施される。
13. 初歩の軍事予備訓練は、男子についてはこの科目にあてられた時間を考慮して、防衛—スポーツ—健康増進キャンプにおける5日間の野外実習で完了する。

各教育施設は、地域の軍事委員部と協議して、実施の具体的な期間を設定し、それを教授過程表に反映する。第2学年の教育が修了したあとの休暇の時期には、この科目にあてられた時間をこえて、防衛—スポーツ—健康増進キャンプにおける14日間

の野外実習が男子については行われる。

女子については、第1学年と第2学年に70時間——その中には市民防衛隊35時間と医療衛生準備35時間が含まれる——が行われる。

中等教育修了者には「初歩の軍事予備訓練」は免除される。

女子や中等教育修了者には、先のことによつてうみだされた時間は教育施設の判断で、例えば「情報学の基礎と情報技術」や「ソ連邦の国民文学」などの科目の学習に利用される。

14. 選択科目のなかには、倫理と倫理学の基礎、科学的無神論、ロシア語と文学、母国

語と母国文学、外国語、家庭生活の倫理と心理、科学的・技術的創造性の基礎、世界の歴史と祖国の文化やその他教育施設の判断によつて設定された科目が含まれる。すべての選択科目の学習の時間数と期間は、直接的に教育施設によつて決められる。

15. 指導文書の学習には、教授プランによつて相当する科目にあてられた時間を考慮して行われる。

16. 各教育施設は養成する専門家の業種や選択科目のリストを考慮して、研究室や実験室や作業場のリストに必要な改訂を加えることができる。

(横山悦生訳)

旅行日程 (1992年3月27日～4月3日)

[I] 3月27日 (金)

- ①13:00～14:00 新潟空港VIP室で団結式
- ②15:30 新潟空港発→18:30ハバロフスク空港着 (但し現地時間。時差1時間)、インツーリストホテルへ

[II] 3月28日 (土)

- ①10:30～12:30 ハバロフスク鉄道大学
- ②15:00～18:00 第12番中学校

[III] 3月29日 (日)

*夏時間になる

- ①10:30～12:30 市内見学、バザール見学
- ②14:30～16:30 3班に分かれ、家庭訪問

[IV] 3月30日 (月)

- ①10:30～12:45 第3番中学校
- ②14:25～16:40 第30番中等職業技術学校
- ③17:00～18:30 友好会館で、ロ日協会活動家やハバロフスク州および市の教育行政担当者 (教育長や職業教育局長等) と懇談

[V] 3月31日 (火)

- ①10:00～11:30 商業リツエイ ЛИЦЕЙ
- ②11:45～13:00 通信電気テフニクム
- ③14:15～16:00 鉄道輸送テフニクム
- ④16:10～17:30 第126番幼稚園

[VI] 4月1日 (水)

- ①10:30～12:45 第7番中等職業技術学校
- ②15:00～16:50 工業テフニクム
- ③17:00～18:20 ハバロフスク教育大学

[VII] 4月2日 (木)

- ①10:30～13:00 鉄道区教育生産コンビナー ト
- ②14:45～19:00 博物館見学、買い物等
- ③19:00～21:00 ロ日協会役員等を招いてお別れパーティー

[VIII] 4月3日 (金)

- ①11:00 ホテル出発、日本人墓地に墓参
- ②13:55 空港発→14:45新潟着 (日本時間)